



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1810号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 矢野 敏夫 幹事 西本 和夫



広重版画より 三島 朝霧

第1872回例会

2011.2.3晴

司 会

柴崎恵子君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 佐々木雅浩君

会長挨拶

会長 矢野敏夫君

皆様こんにちは。今週から2月に入りましたが、今月は「世界理解月間」です。国際ロータリーは、全てのロータリークラブに世界平和のための国際理解と親善を深めるためのプログラムを行なうよう要請しています。このために、例えば国際的な講演者の招請、交換学生の招待等、国際問題の検討の計画、国際的な文化芸術をテーマとする催し等のプログラム等を行なうクラブが多いと聞いております。つまり「世界理解月間」は、ロータリーが世界の人々の善意、世界平和及び理解を求めていく奉仕の道を探り促進するいい機会だといえます。

例えば、去年ガバナー事務所から要請のあったハイチ共和国地震に対する災害義援金の寄付を当クラブも行ないましたが、これも人道的見地からは当然ですが、国際理解、相互援助という面からも大事なことだと思います。

また当クラブは台湾苗栗ロータリークラブと1987年から国際親善、青少年健全育成の一環として「中学生相互交換研修制度」を継続事業として行なってきたり、本年度で25回目となります。これらの事業は若い世代がお互いの民族・習慣・考え方の違いを理解し、「世界理解と世界平和」の担い手として成長することを願うものであります。

本日はこの後、国際奉仕プロジェクトのクラブフォーラムがあります。この後のクラブフォーラムにおいては皆様が国際奉仕委員になったつもりで能動的に話を聞いていただき、今後の活動等に積極的に参加していただけるようお願いします。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	39/47	82.98%	43/47	91.49%
今回	41/49	83.67%	会員総数	52名

欠席者 鈴木(郁)君、鈴木(正二)君、諏訪部(敏)君、野口君、野田君、花房君、室伏君、森崎君

幹事報告

幹事 西本和夫君

①ロータリー2億ドルのチャレンジ

12月31日現在、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から授与された3億5,500万ドルの補助金に上乗せする2億ドルを集めるために 約1億6,000万ドルがロータリアンから寄せられています。不足分の4,000万ドルの支援をよろしくお願いいたします。☒

②2月の日程☒

2月3日☒クラブフォーラム 国際奉仕委員会☒

2月12日☒第2分区 IM☒

2月17日☒親睦例会 ミニコンサート

(交換中学生壮行会は3月に変更) ☒

2月24日☒草話 諏訪部照久君☒

2010~2011年度
国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

地域を育み、大陸をつなぐ

おめでとう

会員誕生日	伊丹君、小林君、前田君
入会記念日	鈴木(正能)君、平野君、古川君
奥様誕生日	小林君、佐々木君、原君
結婚記念日	土屋君、小林君、栗原君、前田君、川真田君

スマイルボックス

- ◆ Fテーブル、旧暦大晦日の昨日、節分生まれの伊丹さんのお祝いかねて、綺麗な庭をながめながら「せせらぎ亭」で楽しいテーブル会をやりました。某S教授によるウォーター講座で、化学実験が行われ、この三島近辺の水は、フランスの水より水質が良い事が証明され、中でも松韻さんの水が素晴らしいことがわかり、今後は水ビジネスを海外展開することの夢をいただきました。このすばらしい水をくれる自然に感謝し、スマイルです！
- ◆ 伊丹君、偶然とはいえ驚きました。先週の例会の席で当社の地下水の話をしてましたら、隣の関本照文様が水の検査をする器具を持っていました。昨日のテーブル会では化学実験テーブル会でした。水のすごさを感じた一夜でございました。本日は誕生日祝いいただきまして有難うございます。やっと69歳になりました。
- ◆ 前田君、92歳の父が昨年、骨折して入院。動けなくなるかと心配しておりましたが、なんとか動けるようになって土曜日に退院することができます。
- ◆ 窪田君、秋田銘木センター仕入、まずまずでした。又、2月2日東京中央木材市場にて伊勢神宮の御神木御山杉8枚までせりで買って来ました。よかったです。



卓話

ロータリー世界理解月間について

渡辺雅晃君

2月は「世界理解月間」に指定されています。

この月間中、ロータリー・クラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するプログラムを行うよう要請されています。また、1905年2月23日は、ポール・ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレの4人がシカゴで初めて会合を開いた日で、ロータリーの創立記念日にあたります。ロータリーではこの日を世界理解と平和の日(World Understanding and Peace Day)と定め、この日の意義をとくに強調し、国際理解と友情と平和にむかって献身するよう要請されています。更に、2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することが決議されています。

ロータリーにおける世界理解と平和の探究

ロータリーは友愛の心で結ばれた4人の会合に始まりましたが、3年後にはサービスの概念が導入され、今では世界166ヶ国の地域に広がり、クラブ数31,000以上、会員総数およそ120万人という大きな奉仕組織に発展しました。1921年、スコットランドのエジンバラ国際大会において、「ロータリーの綱領」の中に「奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」という第4項が組み入れられ、その後世界中のロータリアンは色々なプログラムで世界平和について視野を広め、平和への情熱を声高く表明してきました。しかしながら、今日に至るまで、中東を中心に民族や宗教上の対立、貧困や差別、抑圧への反抗などによる紛争やテロの種はつきません。国際ロータリーでは、国際的な政治問題に対する団体声明を出すことは禁じられていますが、平和と正義の原則に基づき国際的難問を平和交渉によって解決するために、自己の影響力を行使することはすすめられています。

1) 平和への担い手を育てるロータリー世界平和奨学金プログラム

国際ロータリーでは、国際問題の研究を目的としたロータリーセンターを世界の7ヶ所に開設することにしました。このロータリーセンターで研究に従事する「ロータリー世界平和奨学生」は、普通の国際親善奨学生と異なり、紛争解決の要点や、平和研究を含んだ修士課程の2学業年度、研究に従事することになります。

2) 平和と開発に関する会長主催会議の開催

この会議は、2002年8月9～11日、当時のラタクルRI会長によって、マレーシアのクアラルンプールで開催され、約1,400人のロータリアンと来賓が27カ国から参加し、平和への専心を強める会合となりました。

(週報担当：柳田英雄)